

# 平成26年8月豪雨 広島土砂災害への取り組み ～九州地方整備局TEC—FORCE活動～

写真提供：国土交通省 九州地方整備局

緊急災害対策派遣隊 TEC—FORCE  
Technical Emergency Control FORCE



降雨後の搜索活動再開に向け安全確認のための緊急調査



土石流発生箇所の緊急溪流点検



土石流発生箇所周辺溪流の点検調査

## TEC—FORCE (テック・フォース) とは

TEC—FORCE (国土交通省緊急災害対策派遣隊) は、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものである。災害対応を経験した職員や、日々現場で技術研鑽を行っている職員など、全国の国土交通省職員 (本省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方支分部局、気象庁の職員) の中から選出された災害対応エキスパートで構成されている。

※平成26年8月の広島土砂災害では、発災直後より中国地方整備局をはじめ北陸・中部・近畿・四国・九州の各地方整備局、国土技術政策総合研究所、国土地理院及び土木研究所から TEC—FORCE が派遣された。



■災害発生当日（8月20日）から出動，搜索活動支援として安全確認がされていない溪流の危険度調査や被災状況調査を実施



搜索活動支援として降雨後の状況変化を調査



土石流発生箇所の緊急溪流点検

人が立ち入れない危険区域では，レーザー計測器やマルチコプター空撮により被災状況を調査



マルチコプターを持って被災調査に向かう隊員



搜索活動支援として降雨後の状況変化を調査



マルチコプター

搭載カメラ



降雨による流木移動

降雨による土砂流出



▲ マルチコプター操縦者，タイムキーパー，  
周辺機体姿勢監視の3名で構成  
(1回で約15分の飛行が可能)

マルチコプターによる被災状況の空撮調査



降雨後の捜索活動再開に向け、自衛隊、警察、消防等へ技術的助言



土木研究所専門家とともに自衛隊、警察、消防等へ調査結果の説明



地元の方から話を聞き、地域の状況を把握



自治体等関係者と土砂撤去の工法検討状況



土砂撤去を行う建設業者の方と打合せ



一日も早い復興のため懸命の作業を行う建設業者の方々



被災状況の現地調査



土木研究所と土石流発生箇所の溪流調査



応急対策工箇所の現地確認



建設業者の方と応急対策工の打合せ



土木研究所等と応急対策工法の検討



緊急溪流点検（一次点検）結果の記者会見  
（国土交通省TEC—FORCE）



点検調査前の九州TEC—FORCE隊の打合せ状況

## 緊急資材及び機械の派遣



九州防災・火山技術センター（福岡県久留米市）

資材（耐候性大型土のう袋）の緊急支援



小型路面清掃車

狭い道路を清掃する小型路面清掃車1台を派遣  
（大隅河川国道事務所保有）